

経営会議の内容

件 名	(仮称) 大和市歯及び口腔の健康づくり推進計画について
所 管 部	健康福祉部
日時・場所	平成26年11月21日(金) 10:25 ~ 10:55 政策会議室
出 席 者	市長、副市長、教育長、病院長、市長室長、政策部長、総務部長、市民経済部長、環境農政部長、健康福祉部長、こども部長、文化スポーツ部長、街づくり計画部長、都市施設部長、病院事務局長、消防長、教育部長、議会事務局長、健康づくり推進課長
提 出 理 由	(仮称) 大和市歯及び口腔の健康づくり推進計画の策定にあたり、その内容について了承を得るため
会議経過	<p>【主な意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この計画をPRするために、小冊子などを作る予定はあるか。 (所管部) 簡易なパンフレットなどを作って市民にPRしていく。 ・指標や目標値はどのように決めたのか。 (所管部) 指標の設定にあたっては、国や県の計画と整合を図ったほか、計画の内容に沿うように新しい指標を設定したものもある。 ・保健福祉事務所とはどのような連携をとっていくのか。 (所管部) 保健福祉事務所などの関係機関が集まって、歯科口腔の会議を年2回開催しており、今後も必要に応じて、連携・調整を図っていく。また、県において、「8020推進運動」を実施しているので、市としても同様の内容を周知・啓発していく。 ・ブラッシング指導は小学校3年生で実施するとのことだが、学齢期に歯と口腔の健康づくりを身に着けることが重要だと思うので、教育現場と協力して、学年に関わらず取り組みを進めてほしい。また、6歳臼歯は小学校低学年の時点で生えており、3年生の健診ですでに虫歯になっていることがある。できる限り早い時期での実施をお願いしたい。 ・口の中には、その人の生活習慣の足跡が残る。例えば虐待を受けている子どもは、その影響が、口腔内にはっきりと出てくる。学校での健診の際に、口腔内に異常がある子がいたら、虐待などの可能性も視野に入れてほしい。 ・妊娠して出産するまでに歯がぼろぼろになることがあると聞くので、妊婦を対象とした歯科健診は非常に重要だと思う。 ・お年寄りには、口腔内の状態がよいと要介護状態の割合が少ないと言われている。老後に「食べる」楽しみを味わえることは健康を保つためにも大切なので、計画の周知を徹底すること。 ・千葉県市川市では、口腔がんに関する認定医制度を設けていると聞いた。口腔がんは早期発見が重要なので、大和市でも、制度を設けて、一人でも多くの先生に認定医になってもらいたい。 ・4年間の計画期間の中で、歯と口腔の健康づくりが一層推進されるよう、必要に応じて、既存事業の見直しや新規事業の実施を検討すること。
会議結果	案のとおり、進めていく。